

不動院だより



第10号

平成27年 8月



「平野睦男さん」 渡辺悦子画



三部山 不動院

〒719-0302 岡山県浅口郡里庄町新庄3167
TEL (0865) 64-2102 FAX (0865) 64-2159

高野山真言宗備中霊場 第79番
瀬戸内三十三観音霊場 第19番
備中浅口西国霊場 第11番

主な行事等

平成二十七年

● 八月二日(日)～十三日(木) 棚経
● 八月十四日(金)・十五日(土) 盆経

● 八月十六日(日) 午前九時～十一時 施餓鬼会・お焚上げ ※別紙参照

● 十一月十一日(水)

瀬戸内三十三観音霊場第二回巡拜

● 十二月七日(月)～二十四日(木) 守懸

平成二十八年

● 三月十八日(金)～二十三日(水) 常楽会

● 三月二十二日(火) 十一時～

林覚乗僧正様のご法話があります。

あげほうじ 上法事について

お寺で法事をするを上法事といいます。本堂での法要後、お茶と手作りの和菓子をご用意しておりますのでご一服していただき、その後ご親族のみでお墓にお参りしていただきます。

(上法事の場合は、原則お墓に住職は参っておりません。)

準備物

- 1、お位牌
 - 2、新品のお塔婆(または、千円)
 - 3、お花(お墓用のみ)
 - 4、お供物
(お餅・果物・和菓子など適量)
- ※3、4は、法要後持ち帰り、お墓やお仏壇にお供えください。



手作り和菓子
※ご用意できない時もあります。

岡山市浦安の世話人 中西清様の短歌をご紹介します。



中西 清様

昭和二年生まれ 龍短歌会
農業・高温に強い米「にこまる」を栽培されています
※もう一人の浦安の世話人 阿部 猛様(医学博士)は、木村式自然栽培(無農薬)で米作りに挑戦されています。

「この子とも見納め」といってもおおはに言はれるしわれが米寿で元気
「お元気ですね」「お若いすね」と言はるる事が暗示となりてます元氣
いつ迄も元気で若く見えるからと「清さんはお化け」と言はれたりする
手をあげてマラソン出発点へ歩きゆく停年退職間近きわれが
マラソンの出発点に構へをりわれが一番最年長者で
一位でもどりでもあらずマラソンに停年近きわれが完走したり
年長者のわれがマラソン完走せしと特別賞を会社がくれたり
八月は毎年暑し敗れたるかとのしからは殊更暑し
敗れたる国のわらべとは云へど「ギブミーチョコレート」と乞ひたりよくも
同胞を殺めて来たる米兵が「コンニチワ」などと言ひて寄り来る
空襲のあとの遺体の片付けに動員されたり十九歳夏
親族の医師の子どもと看護婦を焼け跡の水槽にわがみつたり
看護婦の着衣の札の「岡本内科」まさしくわが親族の医院
院長の子らを励まし逃がれ来て此の水槽に共に逝きしか
ねぢ花はねぢれねぢれて咲きながら芯をはなることなどはなし
風生れば風にすなほに揺れてゐる庭のねぢ花ピンクのねぢ花

表紙絵について

平野睦男さんは、里庄町の平野商店様で、不動院の先々代住職の増井孝寿僧正様と先代住職の故渡辺清禅僧正と大変ご懇意で、永年不動院総代としてご尽力くださいました。この絵は、平成24年8月に不動院に来られた時のお姿です。絵のモデルをお願いしたところ、「それは有難い」とすぐに快く笑顔で座ってくださいました。完成した絵を見ても「有難い」と、何度も展示会場に足を運んでくださいました。その年の平成24年12月に急逝され、深い悲しみに包まれましたが、この絵を見るたびに微笑んで見守ってくださいているよう有難い気持ちになります。(母・渡辺悦子談)

第10号 平成27年(2015年)8月1日発行
※年2回(8月・12月)発行予定

表紙絵 「平野睦男さん」P30号 油彩 渡辺悦子
発行者 不動院住職 渡邊隆厚